



出会い+結婚+子育て応援団通信 拡大版

育休プチMBA®～育児と仕事を両立するための考え方を学ぶ勉強会～

開催報告

2019年10月28日(月)、こうち男女共同参画センター「ソーレ」で高知家の出会い・結婚・子育て応援団交流会「育休プチMBA®」を開催しました。講師に(株)ワークシフト研究所 所長の国保祥子氏を迎えて行われた勉強会の模様をレポートします。

育休プチMBA®とは？

出産を機に、自身の働き方や長期的なキャリアプランを考えていただく機会とするとともに、育児と仕事を両立するための思考力アップを図る考え方を経営学の視点から学ぶ勉強会。子どもを持つことで労働時間や場所に制約を抱えることになった人材が組織で活躍するために、必要なマネジメント思考を学びます。

講師

(株)ワークシフト研究所 所長
国保祥子氏

博士(経営学)、育休プチMBA®
代表。著書に『働く女子のキャリア格差』(ちくま新書)



交流会の様子

▶参加者：18名

現在妊娠されている方、育休中の方、育休後復職された方が参加。お子様連れで参加された方もいました。



講義の後、グループごとにワークショップを実施

育休取得後、復職して時短勤務をする女性を例に、意見交換や問題点の洗い出し、解決法を確認しました。

国保先生のセミナーからスタート

「家庭と職場で生きる思考力」をテーマに、育児などで時間制約があるからこそ、「自分には出来ない」ではなく、「自分にできること」を考え、自分から仕事をとりに行く積極性や、チームでの協力体制の大切さについてお話していただきました。

自身の状況と重ね合わせ共感する様子も見られたワークショップ。国保先生をはじめ、参加者同士で意見を交わすことで、自分自身を省みる機会にもなりました。

参加された方の声

会社で育休を取得したのは自分が初めてで、出産・育児での環境の変化や復帰後のことに漠然と不安を感じていました。この勉強会で自分の課題を見つけて改善したり、キャリアについて悩んだ時の対策を具体的に学べて、不安が少し軽減されました。

●Aさん
(2児の母親)



抱え込まずに人に頼ることも大切だという考え方がとても理解できました。まもなく復職予定で不安はありますが、行政のサービスも利用しながら、今日学んだことを実践していきたいです。

●Bさん
(1児の母親)



コミュニケーションの重要性について共感しました。家事を一人でやってしまってストレスが溜まることありますが、家庭も職場も同じで、一人で抱え込まずに協力し合わないといけないと感じました。

●Cさん
(1児の母親)



現在育休中で春に復職予定ですが、今回の勉強会に出席して、復帰に向けての意識づくりや心構えができました。まずは復帰に向けた準備の第一歩として、家庭でのコミュニケーションを今から築いていきたいと思っています。

●Dさん
(1児の母親)



今回の勉強会が、時間制約がある中で子育てをしながら、仕事に存分に取り組めるような思考づくりへのきっかけになることを願っています。

高知県では、来年度も継続して当勉強会の開催を検討していますので、ご興味のある方は是非ご参加ください！

